



アスリートのコトバ



©SHIZUOKA BlueRevs
/ Yuuri Tanimoto

「置かれた場所で花を咲かす」

私が大事にしている言葉は「置かれた場所で花を咲かす」です。この言葉は本で読んだのをきっかけに私の中で大事にしている言葉になりました。今自分が置かれている環境で毎日の日々を充実させ、幸せになるために最善を尽くすという意味です。この言葉に出会ってから環境は変えられないので、自分なりの花を咲かすにはどうすればいいかを考えるようにしています。

この言葉は「文句を言っても仕方ないから耐えること」「逃げちゃいけないこと」という意味のものではありません。私も5歳でラグビーを始めてからやりたくないと思うポジションや役職などに就くことも多くありました。皆さんも希望通りでない環境になることも多々あると思います。本当に辛くて、逃げ出したい時もあると思います。そんな時は、どうすれば自分の置かれた場所で楽しく過ごすことができるかなと考えてみてはいかがでしょうか。

■奥村 翔(おくむら かける) 1998年生まれ。

鋭いランと強力なキックが武器。フルバック(FB)、ウィング(WTB)、スタンドオフ(SO)など複数のポジションをこなせる器用さも併せ持つ。今シーズンは言葉通り「出場ポジションでしっかりと結果を出す」と意気込んでいる。

静岡いわた PR 大使
ジャパンラグビーリーグワン 静岡ブルーレヴズ 所属

おくむら かける
奥村 翔 選手



大クスノの下から

第41回

国内最高齢のお祝い

市長 草地博昭

9月上旬、本市掛下にお住まいの水野清隆さん(110歳)が、男性の国内最高齢者になったという大変うれしい一報が届きました。108歳の「茶寿」のお祝いでご自宅へ訪問した際にも随分元気に暮らされていましたが、水野さんならと納得し、男性長寿日本一に選ばれたことを心からお祝い申し上げます。

磐田市で100歳以上の方は市制施行時の平成17年には36人、約20年経った今は123人と4倍近くに増加しています。現代は、医療技術や食事内容も進歩していますから、今後20年経つと100歳以上の方はさらに大きく増加している可能性があります。

水野さんは大正3年(1914年)生まれ。ご本人の竹まいからは、大正、昭和、平成、令和と4つの時代を生き抜いてこられた力強さを感じます。今でも食事は3食きちんととられ、トイレやお風呂も自分一人でできるそうです。

人生100年時代の「幸福社会」を実現し、健康で幸せに歩めるように、私たちも心がけたいものです。

「健康の秘訣はなんですか?」の問いには「きつぱり分かん」と答えていらっしゃいましたが、長年の農作業が築き上げた体幹

の強さ、自分のことは自分でいうという意思の強さが秘訣なのではと思いました。